

## 第 25 回天ヶ瀬ダム再開発事業景観検討委員会 議事要旨

開催日時：平成 25 年 6 月 6 日（木）13:30 ～ 15:30

開催場所：ゆめりあうじ 4 階 第 1 会議室

委員：近藤委員長、吉田委員、北村委員、吉水委員、山本委員、  
中村委員、川端委員（代理：島峯）、島田委員（代理：岡田）以上敬称略  
事務局：琵琶湖河川事務所

### [審議概要]

天ヶ瀬ダム再開発事業実施に伴い必要となるトンネル式放流設備について、景観・デザインの観点から各委員より意見及び助言を頂いた。会議は模型・VRCG を積極活用し、各放流施設のデザイン検討結果の確認および施設周辺の植栽計画についてご議論いただいた。

議事項目は以下のとおり。

- (1) これまでの委員会議事内容
- (2) 前回委員会の指摘事項と対応方針
- (3) トンネル式放流設備の景観デザイン
- (4) アンケートについて
- (5) 工事進捗状況の報告
- (6) 今後の予定

### [議事概要（総括）]

- (1) これまでの委員会議事内容
  - ・右岸工事用道路のコマツナギについて、他の植栽が入らないことを前提にすることは問題である。心を配って緑化を行ってほしいとのご指摘をいただいた。
- (2) 前回委員会の指摘事項と対応方針  
特になし
- (3) トンネル式放流設備の景観デザイン  
主な委員の発言、決定事項は以下のとおり。

#### (流入部)

- ・植栽配置について、防護柵の後ろ側に重点的に低木を配置し、基礎部などを隠すことを考えてはどうかとのご意見をいただいた。  
また、ウツギ、ムラサキシキブのほうがナンテンよりも大きくなると認識しているため、平面図の樹木標記について確認をして欲しいとのご指摘をいただいた。  
春先、秋の末辺りまで人が訪れるので人が通る際に緑を感じられるよう、半常緑的なものを増やすことや樹種の多様性も視野に入れて欲しいとのご意見をいただいた。
- ・流入部の平地部についてももう少し植栽を増やすことで印象が変わるとのご意見をいただいた。
- ・流入部建屋の擁壁部分とテクスチャが同様であるが建築物の意識が薄いのではない

かのご意見をいただいた。

→存在感の軽減をねらった結果である旨、事務局から説明し了解をいただいた。

#### (ゲート室部)

- ・ゲート室部のテクスチャについては、汚れが拡散する縄目模様が良いと思うが、45度という角度が最適か否か、施工、維持管理、見栄えを考慮し慎重に選択をすることがよいとのご意見をいただいた。
- ・ゲート室部の植栽について、使用樹種はもう少し多くの樹種を使うことが良い。併せて、ソメイヨシノは園芸種であり、里山である当該箇所には合わないし、土壌要求がデリケートな上に50年程度で寿命を迎え「天狗巣病」を発症することから、キンキマメザクラやヤマザクラ等排気ガスにも強い品種を使ってはいかがかとのご意見をいただいた。
- ・大津南郷宇治線とゲート室平場の境は高低差があり転落の恐れがある。高欄よりも低木等を植えることなどの工夫をしてはいかがかとのご意見をいただいた。
- ・ゲート室部大津南郷宇治線沿いの補強土壁の上にもう少し多くの植栽を施すことはできないかとのご意見をいただいた。
- ・ゲート室部の植栽の遷移予測について1断面のみではなく、幾つかの断面を表現することにより良いスタディーになると考えるとのご指摘をいただいた。
- ・ゲート室部で大津南郷宇治線は交通量が多いため道路脇を人が歩くことはないと考えられ、横断する場合には横断歩道等の施設が必要ではないかとのご意見をいただいた。
- ・ゲート室周りの造成など、当該地域が宇治市景観計画および京都府の国定公園および風致地区に該当するため、今後の法的手続き等の事務的な調整もお願いしたいとのご意見をいただいた。
- ・VRCGに表現された林道の付替え法面が緑化できれいすぎるのではないかと。確認してほしいとのご指摘をいただいた。
- ・遷移に関しての想定は理解できるが、遷移には長期間（20年ほど）かかることや宇治の観光面に配慮して、施工当初より完成形を念頭において緑量を増やすことが良いとのご指導をいただいた。
- ・低木の樹種としてアセビ、ヒサカキ、シャシャンボ、エゴノキ、アオキ、シキミ、クロガネモチ等の常緑的なものが採用できるのではないかとのご助言をいただいた。
- ・ゲート室部の斜面は北側向きであるため、水は問題ないが、周辺から入り込んでくる種が良く芽吹く場所ではないことを認識した上で、植栽の検討をお願いしたいとのご指摘をいただいた。

#### (吐口部)

- ・吐口部の壁面の緑化について、イタビカズラを上から垂らす程度では緑量が少ないため、もう少し緑量を増やす検討を行ってほしいとのご指摘をいただいた。
- ・吐口部の移植を計画しているアラカシについて、構造物の荷重や在来植生との馴染

みを考えると、もう少し金井戸谷川よりに配置したほうが良いのではないかとのご意見をいただいた。

- ・生態系に対する配慮として、擬岩での処理は出来上がりの見栄えは良いかもしれないが、カルシウム等が懸念されることから保全すべき動物に適合するか否か不安がある。そのため、工事に伴う発生岩等を活用した法面の復元も検討していただきたいとのご指摘をいただいた。

(4) アンケートについて

- ・アンケートの結果については、次回委員会まで時間があるので郵送などで、各委員へ連絡してほしいとの意見をいただいた。

(5) 工事進捗状況の報告

- ・委員会で現地調査も検討してほしい旨の意見をいただいた。
- ・工事進捗状況等を見る機会はないのかとの質問に対して、工事途中での見学会を考えている旨、事務局から回答した。

(6) 今後の予定

特になし

以 上